

ぼらんていあ情報

編集・発行

米子市ボランティア協議会 / 米子市ボランティアセンター

レイアウト

米子ワークホーム

助成金情報

米子市まちづくり活動支援交付金事業

米子市では、市民により構成された住民団体を対象に、地域の課題解決やより良い生活のために自主的かつ継続的に行う住みよいまちづくりのための事業を支援します。

■応募資格等

市内に事務所があり、かつ、市内を拠点に活動する団体で、5人以上で構成され、会則や規約がある団体が応募できます。ただし、市税を滞納している団体や、宗教的活動、政治的活動または営利活動を目的とした団体は応募できません。

■交付金の対象となる事業

①地域の困りごとの解決や住みよいまちづくりのために行う事業や地方創生につながる事業

②地域の特色を生かしたまちづくりの発展させる事業

③これまでのまちづくり活動を進展させる事業

※国、地方公共団体または公益法人から、補助、助成または委託を受けて行う事業については応募できません。

■交付金の種類

交付金は、1団体1事業とします。交付金の種類は3つあります。ただし過去に交付金をうけたことがある団体が行う同一または類似する事業の申請はできません(継続活動コースを除く)。

①ちよっこし活動コース(交付金・対象経費と同額で、上限10万円)

②がいな活動コース(交付金・対象経費の3分の2の額で、上限30万円)

③継続活動コース(交付金・対象経費の2分の1の額で、上限20万円)

■申請書類

まちづくり企画課、淀江支所、米子市ボランティアセンター、市内各公民館にあります。米子市ホームページからも入手できます。

■応募期間 4月28日(木)まで

応募を締め切った後、審査委員会を開催します。委員から申請者への質疑応答などの審査を行った上で、交付団体を決定します。

■問い合わせ・申込み先

米子市役所 まちづくり企画課(本庁4階)
TEL 23・5373

高校生ボランティアリレー

12月25、26日の二日間、「青少年赤十字スタディー・プログラム」がオンラインで開催されました。全国各地から参加した青少年赤十字の仲間たちと共に、これからの青少年赤十字活動を考え、リーダーとして問題を解決するためのヒントや、新型コロナウイルス感染症の影響下での「人道のこころ」について考えました。鳥取県支部の私たちは残念なことに雪の影響で、一日目のみの参加でしたが、普段関わる事があまりない全国のJRCメンバーと学ぶことができ、良い経験になりました。

今年(2022)は、青少年赤十字創立100周年を迎える記念すべき年です。「未来のあなたへ、やさしさを」をテーマに活動します。色々な方に、より青少年赤十字のことを知ってほしいです。

鳥取県高等学校青少年赤十字(JRC)生徒協議会
会長 米子北斗高等学校 小澤 倅





令和4年度の活動につきまして

新年度になりました。一向に収まらないコロナ禍の中で、皆様方におかれましては、ボランティア活動においても大変な思いをされていることとお察しいたします。

米子市ボランティア協議会の活動については、令和元年度の計画では、令和3年度から防災部と研修部を一本化し、新事業を行う予定にしております。しかしながら、令和2年度・3年度と活動ができなかったため、先送りとなり、令和4年度を迎えました。

この間、役員会を重ね、この度、新事業の案を作成しました。この後、コロナがどのような状況になるかわかりませんが、総会で新事業をご提案させていただきます。ご意見を賜りますとともに、

に、皆様のご協力のもと、ますます充実した協議会活動となるよう、前向きな気持ちで今年度の活動を進めていきたいと思っております。

今年度の総会は4月21日(木)を予定しております。新事業についての提案が大きな議事となりますので、皆様には4月上旬には資料をお送りさせていただきます。前もってご確認・ご検討の上、総会にご出席いただければと思っております。

コロナの状況により、総会を書面で行う場合もあるかと思えます。また、事業自体の中止を余儀なくされる場合もあるかと思えます。主催事業や活動を行う際は、何よりも安全安心な状況であることを最優先と考えます。

どうぞ、本年度もよろしくお願いたします。

会長 中村 富士子

「広がれボランティアの輪」 連絡会議の勉強会に参加して

先日、この勉強会があることを知り、2月2日にZOOM会議でこの勉強会に参加しました。

「ボランティア・市民活動における連携・協働を考える」についての基調講演で、協働の方法として、win-winの関係でそれぞれにメリットがあっお互いの強みを発揮して弱みを補完しながらバランスをとって多くの人が共感する目標・ビジョン・ミッションを持ち協働するという言葉に印象を持ちました。

当サークルは人数無制限ではなく人数制限を設け小さく集まり、とにかく話し合いを続け、離れていてもLINEを使った新しい繋がり方をしながら活動を止めなかったことが昨年度は大きかったかと思えます。そして、コロナ禍の後のボランティア・市民活動・サークルのあり方や繋がり方などが問われてくるものかと思いました。

現在、年々このサークルも30代か40代が若い世代といわれているこのご時世で、団体は高齢化が進んでいるのが現状です。やはり、目標・ビジョン・ミッションに共感する若い世代にも浸透し、新しいことも取り入れながら参加しやすい環境で、ありがたいことに参加してくださる皆さまとともにwin-winの関係で連携し、これから

も協働していくことがとても大切で大事なことなのだと思います。

米子湊山手話サークル

代表 橋坂 卓

うごき

1月16日～3月15日

2月

- ◆2日…オンライン講座「ボランティア・市民活動の連携・協働を考える」(中村、橋坂、雑賀)
- ◆16日…米子市交通バリアフリー推進協議会書面決議(内藤、松下)
- ◆25日…米子市障がい者支援課へ相談協議(中村)

3月

- ◆3日…役員会(中村、岩浅、友松、川端、辻、若月、雑賀、杉谷)



講座開催

令和4年度 ボランティア入門講座

「ボランティアって、どんな活動があるの？」
 「興味はあるけど、どうやって始めたらいいの？」
 と思っっているあなた！

ボランティア活動の心構えや自分にあった活動を見つけてポイント、また実際にボランティア活動を体験し、ボランティアへの理解と関心を高めていただければと思っています。

ご参加お待ちしております。

■日時 6月24日(金) 10:00～11:30

■内容

◎ボランティア活動とは

・ボランティアの心構え

【講師】米子市ボランティアセンター職員

◎ボランティア体験

・視覚障がい者をサポートする点訳・朗読・

誘導介助を学ぼう！

【講師】わらび会 会員



昨年度の様子



(水曜休館日)

■申込・問い合わせ

米子市ボランティアセンター
 TEL 23・5455
 FAX 37・3855

- 定員 15名
- 場所 ふれあいの里2階 ボランティア研修室②
- 対象 市内に在住・在学・在勤で、ボランティア活動にご興味のある方は、どなたでもご参加いただけます。
- 申込締切 定員になり次第締め切ります。
- ※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催を中止とする場合もあります。
- ※手話・要約筆記が必要な方は、申込時にお伝えください。



ボランティアデータ

1月1日～2月28日

新規個人登録	2人
新規団体登録	0団体
依頼(要請・お願い)	4件
相談(助言・情報提供)	16件
コーディネート	6件
(うち活動団体 / 0 団体、個人 / 6 人)	
※米子市ボランティアセンターを通して行われたデータです。	
個人登録	360人
団体登録	86団体 (2,806人)

私たちの作業所 イチオシ商品!

もみの木作業所「もみの木鳥取カレー餃子(36個入り)」

鳥取の県民食、カレーを餃子に。スパイシーな香りと刺激的な辛さがたまらない餃子です。ビールが進む事間違いなし。【直販価格 1,500円】

その他、全国的にも人気のある「大山どり」を100%使用し、弓ヶ浜特産の白葱と合わせた「粗挽き鶏ねぎ餃子(36個入り)」【直販価格 2,000円】と、たっぷりの野菜を使用したジューシーな「特製焼き餃子(36個入り)」【直販価格 1,500円】もあります。



※全て、完全手作りの受注生産となっておりますのでご注文を受けてから少々お時間を頂きます。ご了承ください。日にち指定等ございましたらお早めのご注文をお願い致します。

※ご注文は電話又はファックスにて
 お受け取りは直接、当作業所にてお願い致します。又、遠方には別途送料で配送も承っております。

米子市富益町 4722 TEL28-9174 FAX28-9177

まちがい探し

まちがいが3つあるよ。
探してみてね。



ボランティアに関する情報をお気軽に寄せ下さい。

●「ぼらんていあ情報」の置いてあるところ
 公民館・市役所・市立図書館・市児童文化センター・
 市文化ホール・鳥取銀行市内各店・米子信用金庫市内各店・
 日交バスセンター・ふれあいの里等
 ◆この情報誌に関するお問い合わせ先
 〒683-0811
 米子市錦町1丁目139-3 「ふれあいの里」内
 TEL 23-5455 FAX 37-3855
 E-mail: veyonago@chukai.ne.jp

ボランティア大募集

米子市児童文化センター



様々なボランティアの方に活動していただいています。
 たくさんのご応募お待ちしております。

- 日 時 要相談
- 場 所 当センター屋内外
- 内 容 図書ボランティア（本の返却や本棚の整理、本の修復など）、
 事業ボランティア（みなとやまプレーパークの運営の補助、
 イベントスタッフなど）、館内ボランティア（館内にある
 おもちゃの整理整頓やメンテナンス、ボードゲーム・昔あ
 そびなどの遊び方指導、ホワイエでの工作など）など
- 申込締切 4月30日（土）（開館時間9：00～17：00）
 ◎5/8(日)or22日(日)10：30～どちらかの都合の良い日のボ
 ランティア初心者講習会に参加後、各ボランティア活動
 開始。高校生(未成年)の方は保護者の方の署名が必要です。
- 問合わせ 米子市西町133番地（休館日：毎週火曜日）
 TEL34-5455 担当：雑賀、中井

令和4年度 ボランティア活動保険の加入はお済みですか？

ボランティア活動保険とは、国内においてボランティア活動中に起き
 た自身のケガや他人に対して損害を与えたことにより損害賠償問題が発
 生したときに補償をする保険です。

- 加入手続き
 加入申込票に必要事項を記載し、保険料を添えてお申込みください。
 ※団体加入の場合は、加入者の名簿（必要事項を記載しているもので
 あれば既存名簿でも可）と加入者分の保険料が必要となります。
- 保険期間
 年度掛けの保険となっており、加入手続き完了日の翌日0時～令和5年3
 月31日24時までとなります。
- 保険料
 基本プラン(350円)・天災・地震補償プラン(500円)
 【新設】特定感染症重点プラン(550円)
 ◎団体構成員の相互扶助や親睦を目的とする活動はボランティア活動
 に該当せず保険の対象外となります。（例：PTA／自治会／町内会
 活動／学校での授業としてのボランティア活動など）
- 問合わせ・手続き先
 米子市ボランティアセンター（水曜休館日）
 TEL23-5455 FAX37-3855

4月・5月休館日

【4月】
6日、13日、20日、27日

【5月】
6日、11日、18日、25日

※水曜日が祝日の場合は開館し、
 翌日が休館日となります。

開所時間 8：30～17：15

編集後記

春爛漫な陽気に誘われ、近
 くの川土手まで愛犬とともに
 散歩に出かけた。ふと足を
 見下ろしたとき、草むらに群
 生する土筆を見つけ、ひと昔
 前の懐かしい光景を想い浮か
 べた。

辺り一面をピンク色の絨毯
 で敷き詰めたかのように咲き
 誇った「レンゲソウ」。学校帰
 りに寄り道し、花を摘み、蜜
 を吸って遊んだことも、遠き
 良き思い出の一つだ。

今は無き「レンゲソウ」の
 風景に想いを馳せるのは、私
 だけだろうか…

（あみたんのママ）